

10代の意見

「お互いさま」で
共生する社会を

◇病院で会計を待っている
間の出来事です。その病院は、
1日に何千人もの患者さんが
来院する、県内屈指の病院で
す。会計の受付をするのに病
院側の配慮で、車いすの方や
子ども連れの方などは優先さ
れています。その日の窓口業
務は、いつもより少ない人数
で対応していました。会計を
待つ患者さんはいつもよりも
少なめだったようですが、何
人かは並んでいる状況でし
た。

◇子ども連れの方が、優先

側の通りからさつそうと受付
に書類を提出しました。順番
で並んでいたわけでもないの
に、さも優先されることが当
たり前のような振る舞いに、
私には思えました。会計を待
つ患者さんは病院に來ている
時点で、少なからず体調が悪
いのではないのでしょうか。
はた目からは大丈夫そうに見
えても、病人なのです。「優
先」とは何でしょうか。

◇お互いが思いやった上で
の譲り合いではないでしょう
か。順番待ちをしている方々
のことを思うと、心穏やかな
気持ちではいられなくなりま
した。優先が無くて、譲り
合いの精神が存在すればこそ
望ましい社会でしょう。譲っ
てもらって当たり前と思うよ

うな社会でもよいと言えるの
でしょうか。日本人の持つて
いる「お互いさま」の精神で
心地良い譲り合い、優しい気
持ちで共存する社会でありた
いと強く感じた出来事でした。

17歳
(南アルプス市・遠藤希咲)